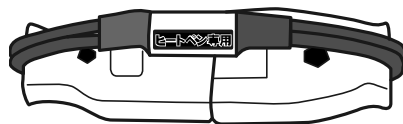


十和田技研プラスチック溶接用ヒートペン・HP-1000専用
 -20℃(-3段)アダプターキット
 組み立て手順書



この度は、ヒートペンHP-1000専用-20℃アダプターP860(P094)をお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。
 この説明書をよくお読みの上、手順を十分ご理解した上で作業してください。



※プラグは付属しません

1. 安全上のご注意

- 警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

- この図記号は、注意(警告を含む)を促す内容があることをお知らせするものです。
- この記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。
- この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告

- このキットの組み立てには、電気工作の基本的な知識を必要とします。知識や経験に乏しい場合は、専門知識のある人に組み立てを依頼してください。
- このキットを使用して、ヒートペン本体を改造しないでください。感電・火傷・発煙・故障等の原因となります。
- 1つのアダプターに接続出来るヒートペンは、1セットまでです。2セット以上を接続すると、発熱・発煙・火災・感電などの原因になります。

注意

- このキットにプラグを加えて組み立てたものは、安全性が保証されない電気用品に該当します。個人的な使用に限定される他、販売は出来ませんので、ご注意ください。
- このキットの組み立ておよび使用について発生したトラブルは、自己責任となります。

1. 特長

ヒートペンの設定温度を160(最低)に設定した状態で、アダプターをヒートペンのプラグに接続すると、-3段タイプ(68Ω)で約20℃(-2段タイプ(47Ω)では約14℃)、温度を下げる事が出来ます。
 -3段タイプを接続した状態でヒートペンの設定を1段上げると、ヒートペンの最低温度より2段下がった温度となり、3段階の追加温度調節が出来ます。(-2段タイプは2段階の調節となります)

2. 組み立て作業前の準備

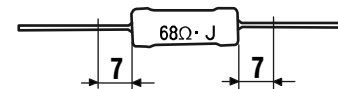
以下のものを用意してください。

- ① 市販のコンセント(メス)、プラグ(オス)、各1個。(プラグは口金回転式タイプを推奨)
- ② 半田ごてと、ヤニ入り半田
- ③ 電気工事用工具(ニッパー、ラジオペンチ、ワイヤストリッパーまたはカッターナイフ、ドライバー)
- ④ ガスライターもしくはヘア 드라이ヤー

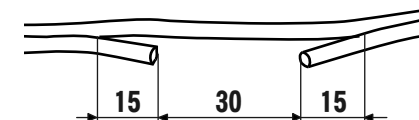
3. 組み立て手順

- ① 抵抗の値が68Ω(もしくは47Ω・3W)であることを確認し、余分なリードをカットします。
- ② パワーコード(ゴム製、長さ20cm)の中央部を片側のみ30mm切り落とし、切り落とした両側を15mm切り裂きます。

① 抵抗のリードをカットする

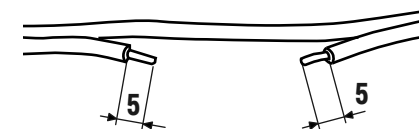


② パワーコードの片側をカットする



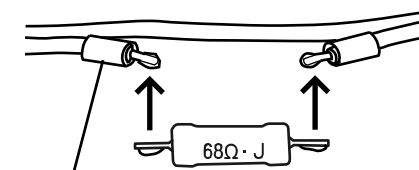
- ③ パワーコードの被覆を5mm剥きます。

③ パワーコードの被覆を剥く



- ④ パワーコードの芯線と抵抗のリードに半田を盛り付け、パワーコードの切り裂き部分に収縮チューブ(φ4.5×10mm)を通してから、抵抗を半田付けします。

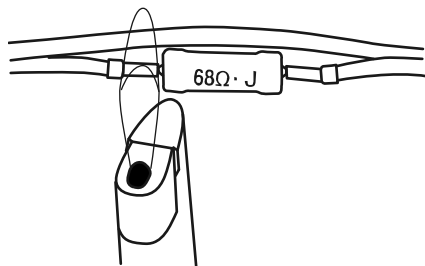
④ 抵抗を半田付けする



収縮チューブ(小)

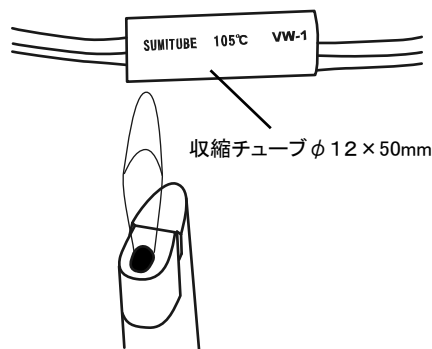
- ⑤ ガスライターまたはヘアドライヤーを使って、芯線保護用収縮チューブを収縮させます。ガスライターの場合は、炎の中心付近に収縮チューブを合わせ、2秒程度の短時間の加熱を繰り返して被覆と芯線にフィットするまで収縮させます。

- ⑤ 芯線保護用収縮チューブを収縮させる



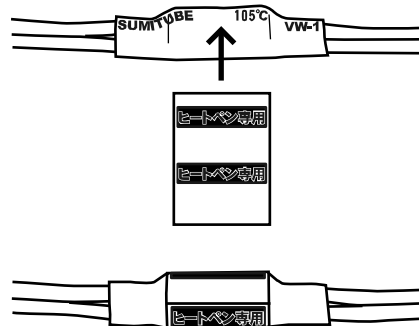
- ⑥ ガスライターまたはヘアドライヤーを使って、抵抗保護用収縮チューブを収縮させます。このチューブは厚みがあるので、ガスライターを使用する場合は、ライターの過熱に気を付けながら根気よく加熱して収縮させます。⑦図のように、パワーコードと抵抗の形がくっきり見分けられるまで収縮させます。

- ⑥ 抵抗保護用収縮チューブを収縮させる



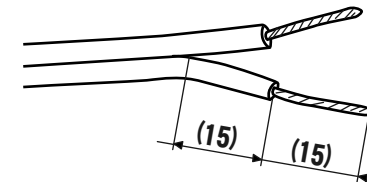
- ⑦ 抵抗の外形に合わせて、添付のラベルを貼り付けます。ラベルの上から先に貼り付けると、一周した時にラベルの上端の余白が下端が重なります。

- ⑦ 添付のラベルを貼り付ける



- ⑧ パワーコードのプラグ／コンセント側の被覆を剥きます。剥く長さはプラグ／コンセントによって違うので、確認してください。芯線は出来るだけ多くねじっておきます。玉子ラグなどの圧着端子を使う場合は、使用する端子に合わせてください。
【注意】 芯線は半田揚げしないでください。緩んで接触不良の原因になります。

- ⑧ プラグ側の被覆を剥く



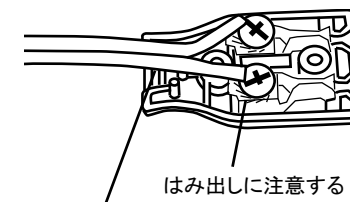
- ⑨ 芯線を端子のネジ部に添うようにカールします。

- ⑨ 芯線をカールする



- ⑩ 芯線をプラグに取り付けます。ネジの締め付け方向と同じ、右回りに取り付けるのがポイントです。
【メモ】 プラグのタイプによっては、パワーコードの押さえが無いものがあります。芯線に直接ストレスが加わると、断線や接触不良の原因になりますので、プラバン・プラ棒などを当ててきつめに挟み込んでください。

- ⑩ 芯線をプラグに取り付ける



この部分のパワーコードの押さえが甘い場合は、プラバンなどを詰めて押さえる

- ⑪ プラグを組み立てて完成です。

- ⑪ 完成



4. 使用時のご注意

- ・使用中に抵抗部分の温度が室温より20℃程度上がりますが、異常ではありません。
- ・アダプタを使用する時は、抵抗の過熱を防ぐため、ヒートペン本体の設定を200以下で使用してください。
- ・ヒートペンに接続する用途以外では絶対に使用しないでください。発火・発煙の原因になります。



■造形用ツールの企画・製作・販売

ブレイン・ファクトリー

Web-site: <http://brain.world.cocacn.jp/>

E-Mail: HGC00477@nifty.ne.jp

2011.05.12 (003)